

## 大阪市水道局設計・施工技術連絡会議 会議録

工事名称	楠葉取水場取水施設耐震改良工事		
会議名称	大阪市水道局設計・施工技術連絡会議		
開催日時	令和4年 2月28日(月) 10:00~11:00		
開催場所	Skype 会議		
出席者	発注者	設計コンサルタント等	受注者
	水道局工務部工務課	日本水工設計(株)	浅沼・南海辰村特定建設工事共同企業体
議題・議事の内容			
<p><b>工事概要</b></p> <p>本工事は、楠葉取水場の接合井・沈砂池・ポンプ吸水井ならびに取水管の耐震改良を行うものである。</p> <p><b>議 題</b></p> <p>「大阪市設計・施工技術連絡会議試行要領」第4条第1項の(1)『設計条件及び設計内容について、当該現場の特殊性等から説明・確認を行う必要がある場合』に該当する下記事案について、本連絡会議を開催し、施工に先立ち明らかとなった課題の共有と、その対応策を議論する。</p> <p><b>議 事</b></p> <p>設計変更事案への対応の検証、妥当性の精査について</p> <p>(1) 放生川連絡橋部における電気ケーブル敷設方法の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 河川管理者からの指示による河川区域の既設電気ケーブル敷設方法の変更については、地震時や洪水時における電気ケーブルの信頼性を再検討したうえで敷設方法を選定しており妥当なものである。</li> <li>➤ 当該変更は施工段階の現場条件や施工協議で発生したものであり、当初は予見することができなかった事由によるやむを得ない設計変更である。</li> </ul> <p>(2) 活性炭注入設備周辺の鋼矢板残置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 今回工事で打設した鋼矢板の一部残置については、同土質条件による沈砂池の施工状況、取水場内で運用中である既設設備への影響など、様々な対策を考慮した上での決定となっており妥当なものである。</li> </ul>			

- 当該変更は施工段階の現場条件や施工協議で発生したものであり、当初は予見することができなかった事由によるやむを得ない設計変更である。

#### (3) 取水バイパス部の構造変更に伴う構造計算、角落し等の追加

- 取水バイパス部の構造変更については、現地の地盤状況や影響範囲の復旧までを考慮した上で開水路から管路への変更を行っており、それに伴う構造計算の追加については妥当なものである。
- 当該変更は施工段階の現場条件や施工協議で発生したものであり、当初は予見することができなかった事由によるやむを得ない設計変更である。

#### (4) 電動弁設置に伴うダミー管の製作

- 河川区域における電動弁設置に際しては、取水管へのフランジ溶接による精度管理や現場誤差等を考慮してダミー管を設置することとしており妥当なものである。
- 当該変更は施工段階の現場条件で発生したものであり、当初は予見することができなかった事由によるやむを得ない設計変更である。

#### (5) 3・4号沈砂池築造に伴う地下水対策

- 沈砂池築造に伴う水替工の追加については、同土質条件による1・2号沈砂池の施工状況など、様々な対策を考慮した上での決定となっており妥当なものである。
- 当該変更は施工段階の現場条件や施工協議で発生したものであり、当初は予見することができなかった事由によるやむを得ない設計変更である。

#### (6) 防音シートの設置

- 近隣住民からの騒音苦情により、騒音が発生する日が連続しないよう工程調整し、かつ騒音を軽減できるよう防音シートを追加しており、これらの対応については妥当なものである。
- 当該変更は施工段階の現場条件で発生したものであり、当初は予見することができなかった事由によるやむを得ない設計変更である。

本会議の内容については水道局ホームページにて公表するため、透明性も確保されている。

以上